

氏名：山田陽平

私は将来、建築を設計することを通して社会を導いていけるような人物になりたい。建築は社会の基盤であり、あらゆる分野と複雑に絡み合っている。同時に、美しいと感じさせてくれる豊かさを持ち合わせている。即物的な豊かさとは違い、真に社会に必要な豊かさとは、都市や社会に溶け込む芸術的感性だと私は考えている。今はまだ芸術と社会の間には距離があるように感じる。建築は社会と芸術の融合体として、より豊かな社会を实际的に目指すことができる。私は、建築のこの芸術としての可能性を追求したい。そして、それを社会の豊かさとして目指したいと考えている。現在私は、美術大学という、あらゆる芸術分野との交流、研究ができる恵まれた環境に身を置くことができている。この環境をいかして、大学院での2年間を有意義なものとしたい。そして卒業後は独立を目指し、より深い思考と実践をしていき、人々により多くの豊かさをもたらしたいと望んでいる。